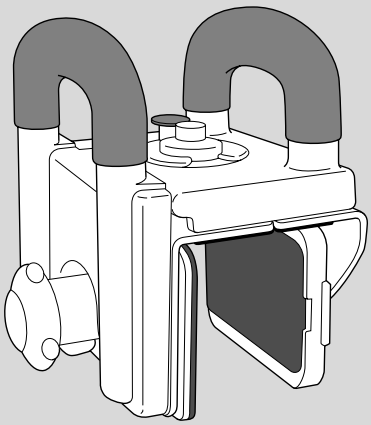
安寿（あんじゅ）

大切にしたい。
自立への気持ちと思いやり。

安寿ツイン浴槽手すり
取扱説明書

このたびは安寿ツイン浴槽手すりをお求めいただきまして、まことにありがとうございます。
正しくお使いいただくため、ご使用前に必ずお読みください。



もくじ

安全上のご注意	1･2
取りつけの前に	3･4
各部のなまえ・特長	4
取りつけかた	5･6
使いかた	7
お手入れの方法	7

ARONKASEI CO.,LTD.

安全上のご注意

ここに示した注意事項は、製品を正しくお使いいただき、あなたや他人への危害を未然に防止するためのものです。いずれも安全に関する重要な内容ですので、必ずお守りください。

⚠警告	誤った使いかたをすると「死亡または重傷などを負う可能性が想定される」内容を説明しています。
⚠注意	誤った使いかたをすると「傷害または財産への損害が発生する可能性が想定される」内容を説明しています。

■お守りいただきたい内容の種類を、下の絵表示（図記号）で区分し、説明しています。（下記は絵表示の例です）

必ず実行していただく「強制」内容を説明しています。

してはいけない「禁止」内容を説明しています。

⚠ 警告

毎回ご使用の前に、グリップを前後左右に揺らしてみて、浴槽にしっかり固定されているか必ず確認してください。
しっかり固定されていないと、使用中に本品が外れ転倒する恐れがあります。

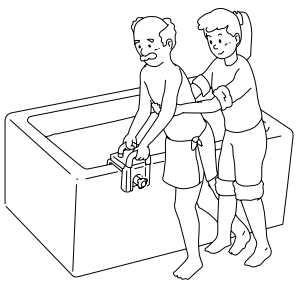
浴槽壁の厚みが次の範囲の場合では取りつけないでください。
4.5cm未満、13cmを超える場合。
本品が浴槽から外れ、転倒やけがの原因となったり、浴槽が破損することがあります。

⚠ 注意

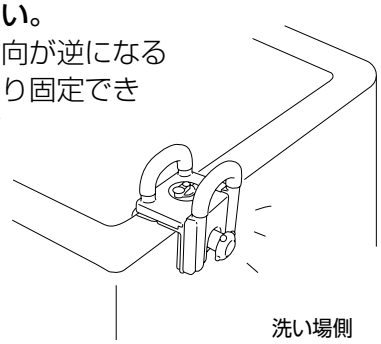
改造や分解をしないでください。
本品が正常にはたらかず、けがの原因となります。

本品を取りつける前に、浴槽の取りつけ面に湯あか等の汚れや、水分及び洗剤等が付着していないことを確認してください。
浴槽が汚れていると、使用中に本品が外れ転倒する恐れがあります。

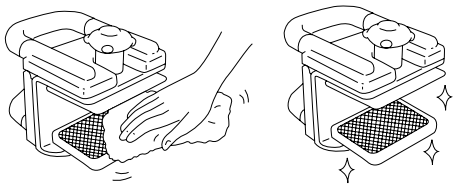
使用者が自分の身体を十分に安定させられない場合は、介助者の付き添いが必要です。



ハンドルが洗い場側に向くように取りつけてください。
取りつけ方向が逆になると、しっかり固定できない場合があります。



万一ゴムシートがとれた場合、本体・ゴムシートに残った(のり)をきれいに取り除き、市販の強力タイプ両面テープでゴムシートを貼り直してからご使用ください。
ゴムシートがはがれると本品が左右に滑りやすくなり転倒やけがの原因となります。

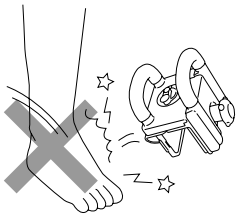


安全上のご注意

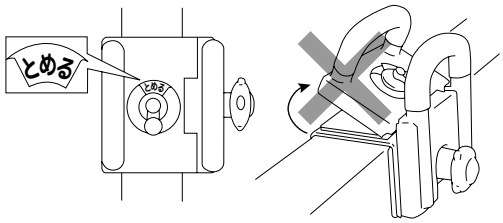
⚠ 注意

浴槽壁の外側に段がついている場合は、必ず付属の「段差補正板」を使用してください。
段差補正を行わないと本品が浴槽から外れ、転倒やけがの原因となります。

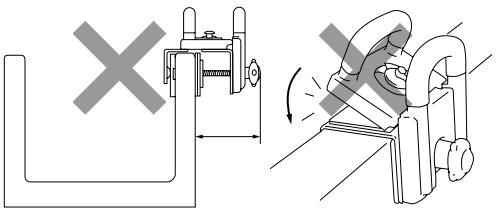
取りつけ・取り外しの場合は、足の上に落とさないよう取り扱いには十分注意してください。
足に落とすと負傷・骨折の恐れがあります。



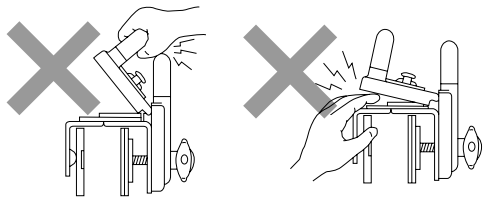
ご使用前に、必ず、ロックが「とめる」の位置で固定され、グリップ台が上に開かないことを確認してください。



手すりを浴槽壁に取りつける際のフレームの幅調節は、取扱説明書に従い、適切に行ってください。
手すりが、洗い場側へ必要以上にでっぱったり固定ができないなどの不具合が生じることがあります。



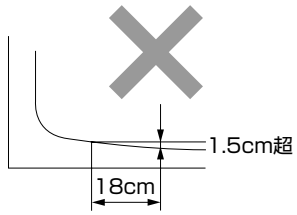
グリップ台を開けるとき、または、閉めるときには、指をはさまないよう十分注意して行ってください。



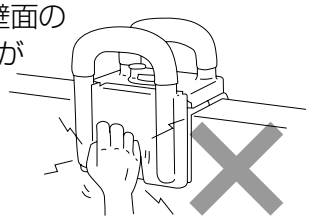
浴槽以外のものには取りつけないでください。

石けんや洗剤が付着した手で使用しないでください。
手が滑って、けがの原因となります。

浴槽壁厚の差が約1.5cmを超える場所には取りつけないでください。
本品が浴槽から外れ、転倒やけがの原因となります。

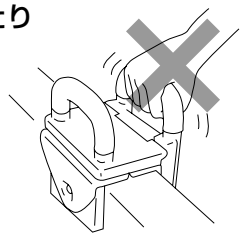


ハンドルを必要以上に締めつけないでください。
浴槽が変形、または破損することがあります。（タイル壁面の場合は、タイルが破損することがあります。）



45℃以上では使用しないでください。
ゴムシートがはがれ、けがの原因となります。

本体のグリップ部を持って、前後左右に強く押したり引いたり乱暴に扱わないでください。
浴槽が破損することがあります。



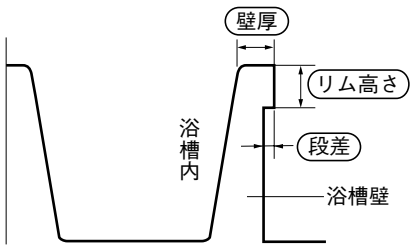
他の用途で使用しないでください。
けがの原因となります。

取りつけの前に

●次の確認を行ってから取りつけを行ってください。

「安寿ツイン浴槽手すり」を取りつけられる浴槽壁の厚みは、4.5～13cmです。

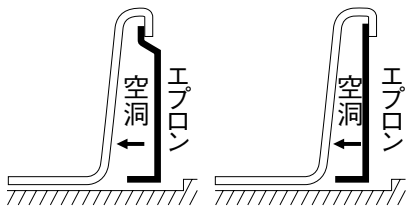
ここをご確認ください。



●浴槽壁の厚みを測ってください。
●浴槽壁に段差がないか調べてください。

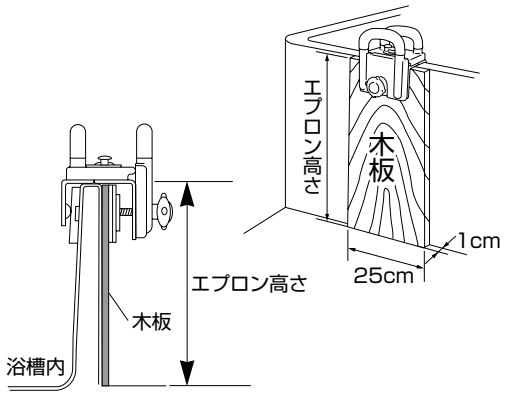
⚠ 注意

ポリ浴槽などで、浴槽外側のエプロン部が取り外し可能な場合は取りつけできません。



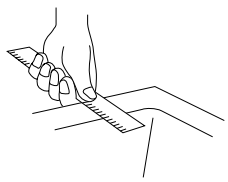
浴槽内外の壁が一体であるが、外壁の強度が弱く正しくセットできない場合

壁の補強として、幅25×厚さ1cmで、エプロン高さに合わせた長さの木板を、浴槽壁の外側にあてがってから取りつけてください。



⚠ 注意

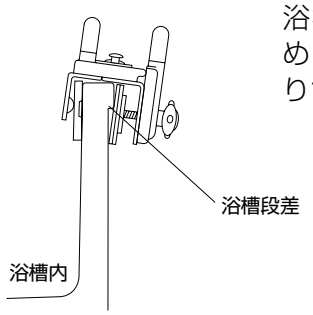
浴槽壁の厚みが次の範囲の場所では取りつけないでください。
4.5cm未満、13cmを超える場合、本品が浴槽から外れ、転倒やけがの原因となったり、浴槽が破損することがあります。



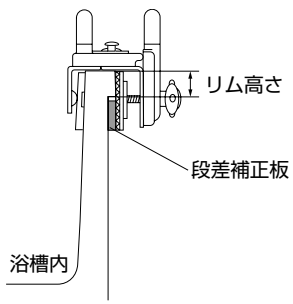
浴槽の外側に段がついている場合は、段差補正を行ってから本品を取りつけてください。

【良くない例】

浴槽壁に段があるため、本体が傾いて取りつけられている。



【段差が15㎜以下の場合】



●付属の段差補正板で、浴槽壁外側の段差を解消します。
●段差の幅やリムの高さによっても、補正の仕方は変わります。

取りつけの際は次のページの段差補正板取りつけ方法をよくお読みください。

【段差が15㎜を超える場合】

段に合わせた厚みの木板または硬いゴムをあてがってから取りつけてください。

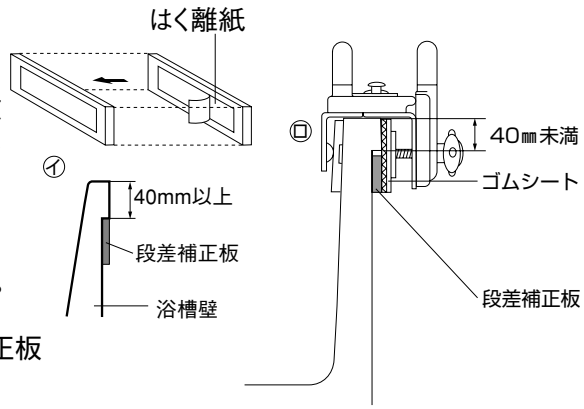
取りつけの前に

段差補正板 取りつけ方法

段差15㎜以下の場合

1 段差に合わせて段差補正板を用意します。2、3枚使用の場合には、最初に両面テープのはく離紙をはがし、重ね貼りをしておきます。

2 ㋑リム高さ40㎜以上の場合
リム下端に接する位置へ段差補正板を貼りつけます。
㋺リム高さ40㎜未満の場合
本体のゴムシート下端に合わせた位置に、段差補正板を貼りつけます。



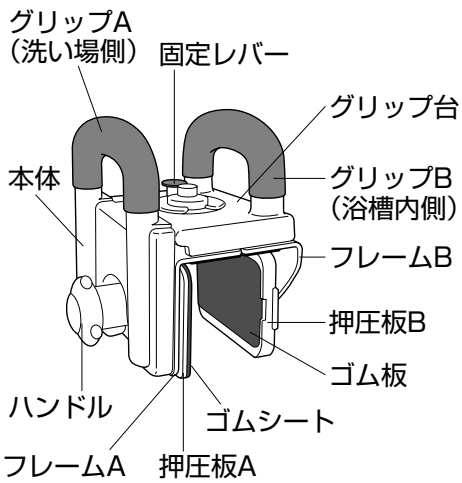
⚠ 注意

使用前に浴槽壁から段差補正板がとれていないか確認してください。万一段差補正板がとれた場合、浴槽壁に残った（のり）をきれいに取り除き、市販の強力タイプ両面テープで段差補正板を貼り直してからご使用ください。

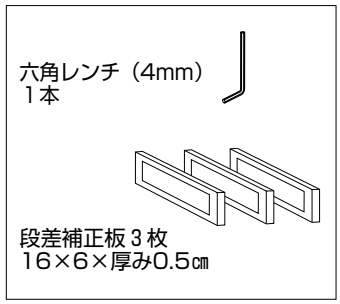
各部のなまえ

■仕様

	部品名	材質
構成部品	本体、グリップ台、ハンドル、固定レバー	ポリプロピレン
	グリップ部、ゴム板	エラストマー
	フレーム	ステンレス
	軸、ネジスリーブ	黄銅（ニッケル、クロムメッキ）
	ゴムシート	エチレンプロピレンゴム
	段差補正板	ポリエチレン
サイズ	18×19～25×高さ22㎝ 手すり部高さ（浴槽縁より）11㎝	
重量	約3.7kg	



■付属品



特長

- ●高い縁の据置式浴槽をまたぎやすくする2本の平行グリップにより、両手で姿勢を保ち、安定して浴槽をまたげます。
- ●高さの低いグリップを持つと、自然と頭が下がり足が上げやすくなります。
- ●取りつけたまま風呂フタができます。
- ●卵型（断面形状）の持ちやすいグリップ形状。
- ●グリップ部はソフトなタッチで滑りにくく、冷たさを感じさせない素材（エラストマー）を使用
- ●グリップカラーには、湯気の中でも見やすい赤色を採用。
- ●締めつけやすい形状のハンドル。
- ●浴槽壁に接する部分には滑り止めと、浴槽保護のためゴムシートを使用。
- ●押圧板は浴槽面に合わせて動く首フリタイプ。

取りつけかた

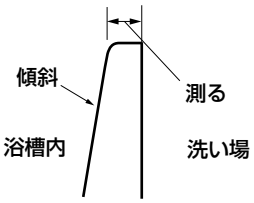
浴槽に水を入れる前に以下の手順で行ってください。

取りつけ

1 取りつけ可能な浴槽の壁厚は4.5～13cmです。

2 取りつけ面に洗剤・湯あか等が付着していると滑りやすいので、乾いた布などで十分に拭き取ってください。

3 浴槽壁の厚みを測ってください。浴槽内壁に傾斜があるときはその数値に＋0.5cmしてください。



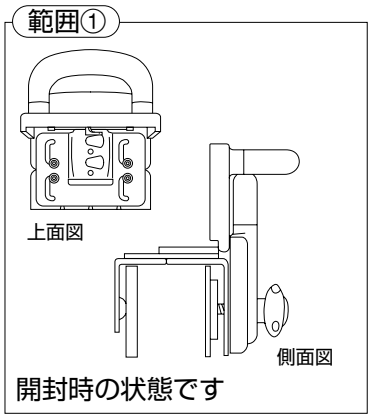
（例）7.5cmの場合

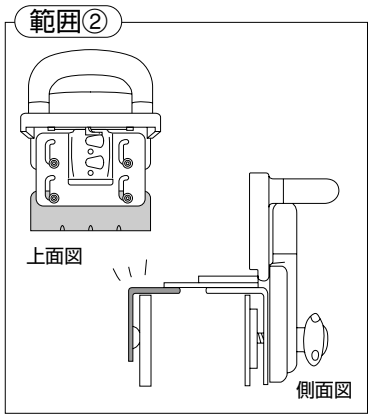
―傾斜があるとき―	―傾斜がないとき―
7.5＋0.5＝8.0cm	7.5cm
↓	↓
8.0cmは範囲②	7.5cmは範囲①

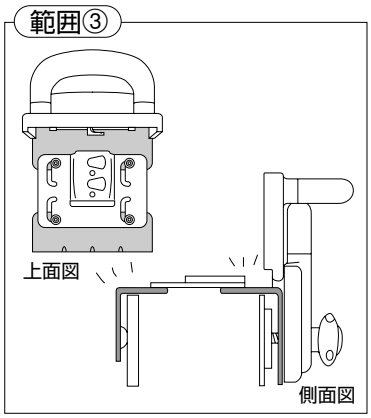
4 ①～③の適合する範囲を確認してください。

範囲①	4.5～ 7.5cm
範囲②	7.6～10.5cm
範囲③	10.6～13.5cm

5 下図の通りに、フレーム幅を調節してください。

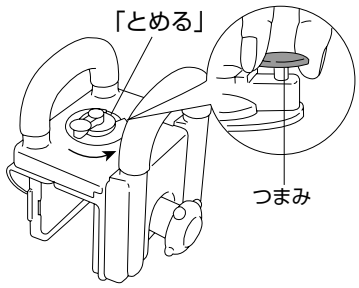


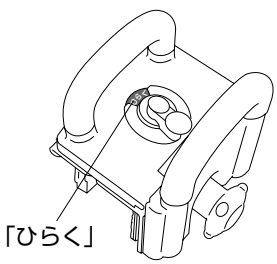




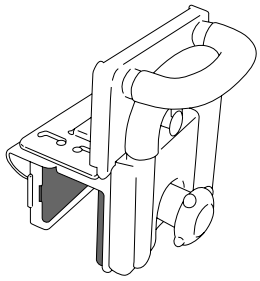
●フレーム幅の調節方法

（1）つまみを上に引き上げながら
ロックを「ひらく」にまわします。



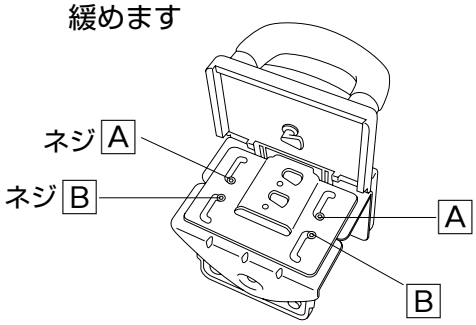


（2）グリップ台をひらきます。



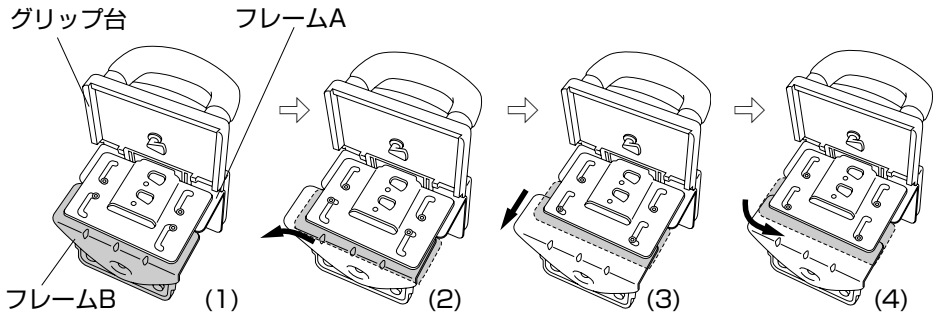
取りつけかた

（3）付属の六角レンチでネジを緩めます



範囲①の場合	不要（ネジの締めつけを確認ください。）
範囲②の場合	B のネジ2本を緩めます
範囲③の場合	A B のネジ4本を緩めます

（4）フレームBを下図のようにスライドさせ、しっかりとネジを締めます。（範囲②の場合）



※範囲③の場合は、同様にフレームAもスライドさせます。

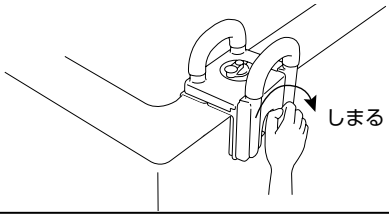
6 ハンドルが洗い場側に向くように取りつけます。

⚠注意

- （4）のとき、最後の当たりを感じるところまでしっかりとスライドさせてネジを締めつけてください。グリップ台が閉まらない場合があります。
- ネジが確実に締まったか確認してください。

7 浴槽壁のできる限り端に図のようにセットし、ハンドルを右に回して取りつけます。

※締めつけ具合はグリップを握り、左右に動かない程度を目安としてください。
またフレームが浴槽の上縁より浮き上がっていないか確認してください。

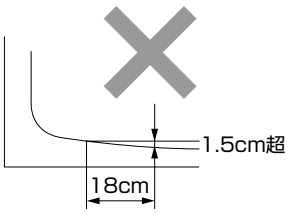


⚠注意

ハンドルを必要以上に締めつけないでください。
浴槽が変形、または破損することがあります。
（タイル壁面の場合は、タイルが破損することがあります。）

⚠注意

浴槽壁厚の差が約1.5cmを超える場所には取つけないでください。
本品が浴槽から外れ、転倒やけがの原因となります。



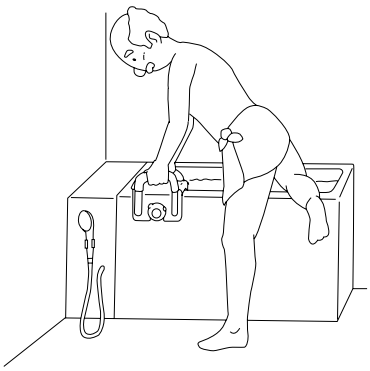
正しくセットされていることの確認

- 浴槽の壁厚が4.5～13cmであるか。
- 浴槽壁が弱く変形していないか。変形している場合は、木板にて壁を補強してください。
- 段がある浴槽壁で傾いて取りつけられていないか。
- フレームが浴槽の上縁より浮き上がっていないか。
- 締めつけが弱くグラツキはないか。

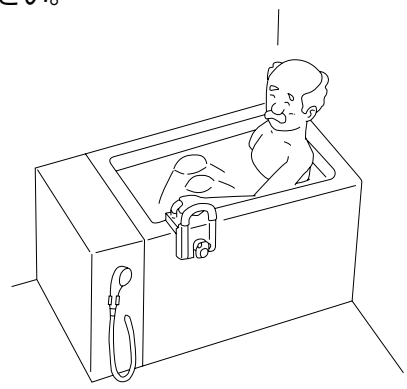
使いかた（浴槽にのみご使用ください）

●使用前には必ず本品およびグリップ台が、しっかりと固定されていることを確認してからご使用ください。
●洗剤が手やグリップに付着していると、滑りやすくなりけがをする恐れがありますので、きれいに洗ってからご使用ください。

1 グリップを両手で握り、浴槽側の足からゆっくりと浴槽内に移します。



2 グリップを持って、静かにお湯につかってください。



3 浴槽から出るときは、入るときの逆の手順で行ってください。

⚠注意	動作は身体の安定を確認しながらゆっくりと行ってください

お手入れの方法

●中性洗剤のうすめ液をスポンジかやわらかい布にふくませ、汚れを取ったあと、きれいな水で洗剤を洗い流し、かげ干しか、乾いた布で空ぶきしてください。

⚠注意	**※タワシや磨き粉、研磨剤入りのスポンジ等のご使用は避けてください。** **※必ず中性洗剤をご使用ください。アルカリ洗剤・酸性洗剤・塩素系洗剤・シンナー・クレゾール等は絶対に使用しないでください。** プラスチックが劣化または破損し、けがの原因となることがあります。

本品のグリップ部は手触り感を良くし、さらに安全のため、使用時に滑りにくいよう、特殊な方法で製造しております。そのため、部分的に白点がありますが、品質上何ら問題はありませんので安心してご使用ください。